

■科目基本情報

科目名	メディアデザイン		科目コード	J310	科目区分	専門	
学科・コース	情報システム工学科 メディアデザインコース		学 年	2年	学 期	通年	
方 式	演習	必 ・ 選	必修	単 位	2	総 時 数	60
実務経験のある教員科目	<input checked="" type="checkbox"/> 対象・ <input type="checkbox"/> 対象外	企業案件（CM、ポスターデザイン、プロダクトデザイン、冊子デザイン）制作に携わる					

■授業詳細情報

授 業 概 要	映像・放送業界で標準的に利用されている、モーショングラフィックスソフト「AfterEffects」の基本的な操作方法および動画編集ソフト「Adobe Premiere Pro」を学習する。また各ソフトウェアを単体で利用するのではなく、双方を組み合わせることで効率的にクオリティの高い映像作品を制作するノウハウを身につける。
達 成 目 標	「Adobe Premiere Pro」および「After Effects」の基本的な操作方法に精通し、個人のアイデアを生み出すためのツールとして活用することができる。単に編集してあればよいというレベルではなく、見る側に何らかのメッセージを伝えるために意図して編集作業を行うことができる。
使 用 教 材	教科書： After Effects パーフェクト教本（技術評論社） 副教材： 参考書：
授 業 外 学 習	

授業計画

項 目	内 容	時数
1 INTRODUCTION—After Effectsをはじめの前に	01 本書の構成 02 動画制作における重要ポイント 03 編集機材とソフトウェアの準備 04 After Effects のインストールと準備 05 本書における効果的な学習法	1
2 ソーシャル動画の作成（基礎編）—After Effectsで商品PR動画を作成してみよう	01 パネルの特徴とパネルのレイアウトを理解する 02 プロジェクトファイルを開く 03 主なパネルの名称と役割を理解する 04 コンポジションを理解する 05 使用する素材と名称を確認する 06 コンポジションを確認する ～オープニングの作成① 07 背景を作成する ～オープニングの作成② 08 写真を動かす ～オープニングの作成③ 09 アニメーションを設定する ～オープニングの作成④ 10 アンカーポイントを設定する ～オープニングの作成⑤ 11 レイヤー（プロダクト）を配置する ～オープニングの作成⑥ 12 キーフレームで不透明度の調整をする ～オープニングの作成⑦ 13 エクスプレッションで不透明度の調整をする ～オープニングの作成⑧ 14 プレートと文字の演出をする ～オープニングの作成⑨ 15 モーションブラーの設定をする ～オープニングの作成⑩ 16 背景を作成する ～プロダクト案内の作成① 17 文字の演出をする ～プロダクト案内の作成② 18 吹き出しの演出をする ～プロダクト案内の作成③ 19 背景の色を調整する ～感想の作成① 20 写真素材の配置と切り抜きを行う ～感想の作成② 21 写真素材を回転する ～感想の作成③ 22 スケール変更・反転と色補正を行う ～感想の作成④ 23 背景を発光させる ～「検索はこちら」の作成① 24 検索ウィンドウとボタンを作成する ～「検索はこちら」の作成② 25 文字をアニメーション表示する ～「検索はこちら」の作成③ 26 素材に演出を施す ～「先着プレゼント」の作成① 27 文字にアニメーションや演出を施す ～「先着プレゼント」の作成② 28 調整レイヤーを設定する ～「先着プレゼント」の作成③ 29 素材を配置して動画を完成させる ～ムービーのネスト化 30 Adobe Media Encoder で書き出しを行う ～動画の書き出し	18

3	ソーシャル動画の演出	<ul style="list-style-type: none"> <li>01 文字の演出 ～レイヤースタイルの活用</li> <li>02 光沢感を出して文字を光らせる①</li> <li>03 光沢感を出して文字を光らせる②</li> <li>04 線文字に光沢感を加える</li> <li>05 文字に金属感を加える</li> <li>06 文字に立体感と影を施す</li> <li>07 黄金文字を作成する</li> <li>08 文字に透明感（ガラス）を加える</li> <li>09 スケッチ風の文字を動かす</li> <li>10 文字に映り込みを加える</li> <li>11 質感を加えて雰囲気のある文字にする①</li> <li>12 質感を加えて雰囲気のある文字にする②</li> <li>13 ネオン風の文字を作成する</li> <li>14 炎の文字を作成する</li> <li>15 素材に炎や光を加える</li> <li>16 3D 文字を作成する</li> <li>17 金属プレートを作成する</li> <li>18 奥行き感のある 3D 文字を作成する</li> </ul>	10
	3.2 モーション& エクスプレッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>01 モーションにおけるさまざまな演出表現</li> <li>02 文字とグラフをワイプする</li> <li>03 文字をパスに沿って移動する</li> <li>04 文字をループ再生する</li> <li>05 時計の針を動かす</li> <li>06 鐘の揺れを永久ループする</li> <li>07 光の点滅を調整する</li> <li>08 点線模様の円形を動かす</li> <li>09 時間差で光玉を追尾させる</li> <li>10 ランダムに点滅する光玉と回転する円を作る</li> <li>11 誘導アニメーションを作成する</li> <li>12 描かれていく矢印線を作成する</li> <li>13 棒グラフを作る</li> <li>14 数値アニメーションを作る</li> <li>15 3D グラフと数値アニメーションを作成する</li> <li>16 動画素材とグラフを組み合わせる</li> <li>17 キャラグラフのアニメーションを作成する</li> <li>18 文字を順番に自動表示させる</li> <li>19 吹き出しをアニメーション表示する</li> <li>20 絵柄のある吹き出しを作る</li> <li>21 アニメーションプリセットを活用して文字アニメーションを作成する</li> <li>22 Animation Composer ～無料プラグインで文字の動きを演出する①</li> <li>23 Squash and Stretch Free ～無料プラグインで文字の動きを演出する②</li> <li>24 BOUNCr ～無料プラグインで文字の動きを演出する③</li> <li>25 モーションを演出するプラグインを利用する</li> </ul>	10
	3.3 反射と影	<ul style="list-style-type: none"> <li>01 映り込みを生かして文字を演出する</li> <li>02 映り込みや影を生かして写真（素材）を演出する</li> <li>03 3D レイヤーで文字に立体感を出す</li> <li>04 光を投影して文字に影を付ける</li> <li>05 カメラの設定を調整しボケ味のある写真を作る</li> </ul>	3
	3.4 背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>01 背景をきれいに処理する①</li> <li>02 背景をきれいに処理する②</li> <li>03 マスクを使った背景を作成する</li> <li>04 カレイド（万華鏡）を使った背景を作成する</li> <li>05 ノイズによる背景を作成する</li> <li>06 パーティクル背景（雪）を作成する</li> <li>07 パーティクル背景（光粒）を作成する</li> <li>08 余分な背景を消す</li> <li>09 背景を演出するさまざまなプラグインとスクリプト</li> </ul>	3

3.5 場面転換とスライドショー	<ul style="list-style-type: none"> <li>01 ブラインドエフェクトを使って場面転換を行う</li> <li>02 マスクを使って場面転換を行う</li> <li>03 グラデーション輝度による場面転換を行う</li> <li>04 レンズフレアによる場面転換を行う</li> <li>05 基本のグラデーションパターンを作成する</li> <li>06 無料プラグインを使用して場面転換を行う</li> <li>07 スルオブジェクトを使用したグループ移動での場面転換を理解する</li> <li>08 スルオブジェクトを使用したズームアップ場面転換を作る</li> <li>09 スルオブジェクトで3Dの回転場面転換を行う</li> <li>10 人物の周りを旋回する写真のスライドを作成する</li> <li>11 エクスプレッションを使用してスライドを整理配置する</li> <li>12 回転するパネル看板を作る</li> <li>13 スライドを簡単に作成できる便利なスクリプトを利用する</li> </ul>	4
3.6 光	<ul style="list-style-type: none"> <li>01 色深度を深く理解する</li> <li>02 加算による光の合成を知る</li> <li>03 光の拡散制御を行う①</li> <li>04 光の拡散制御を行う②</li> <li>05 文字を光らせる</li> <li>06 光部分をアルファチャンネル化して合成する</li> <li>07 電飾光源を作成する</li> <li>08 後光（光に包まれる）を作成する</li> <li>09 横に広がる線の光を作成する</li> <li>10 スパイクボール状の光を作成する</li> <li>11 放射状の光を作成する</li> <li>12 光と文字を使って場面転換を行う</li> <li>13 光の反射を演出する</li> <li>14 発光する文字を作る</li> <li>15 検索ガラスを演出する</li> <li>16 光を演出するさまざまなプラグイン</li> </ul>	4
3.7 誘導の演出	<ul style="list-style-type: none"> <li>01 タイプ文字で誘導する</li> <li>02 シールの動きや吹き出しで誘導する</li> <li>03 大画面での視点の移動で大胆に演出する</li> <li>04 人物のジェスチャーで誘導する①</li> <li>05 人物のジェスチャーで誘導する②</li> <li>06 誘導を演出するとしておきのプラグイン</li> </ul>	2
4 ソーシャル動画の作成（応用編）	<ul style="list-style-type: none"> <li>01 情報サービス動画を作成するための準備をする</li> <li>02 コンポジションの構成と素材の確認をする</li> <li>03 オープニングを作成する</li> <li>04 悩む女性のモーションを作る ～オープニングの作成①</li> <li>05 吹き出しのアニメーションを作る ～オープニングの作成②</li> <li>06 写真／ラベルのモーションを作る ～オープニングの作成③</li> <li>07 誘導の演出を施す ～オープニングの作成④</li> <li>08 スライド写真のコンポジションを整える ～スマホアクションの作成①</li> <li>09 画面の切り抜きと指のモーションを設定する ～スマホアクションの作成②</li> <li>10 写真をスワイプで切り替えるモーションを設定する ～スマホアクションの作成③</li> <li>11 オープニングとスマホアクションを統合する</li> <li>12 写真の配置を演出する ～写真配列アニメーションの作成①</li> <li>13 写真をフォーカス表示する ～写真配列アニメーションの作成②</li> <li>14 キラキラ文字を作る ～決めセリフの作成①</li> <li>15 キラキラ飛び散るハートを作る ～決めセリフの作成②</li> <li>16 作った部品を統合する ～決めセリフの作成③</li> <li>17 グラデーション矢印でエンディングへと導く</li> <li>18 前半と後半のコンポジションを統合する</li> </ul>	3
5 Premiere Pro との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>01 サンプルファイルを確認して Premiere Pro を導入する</li> <li>02 モーショングラフィックステンプレートを作成する</li> <li>03 Premiere Pro で作業を行う</li> <li>04 モーション素材をテンプレートにし連携して編集する</li> </ul>	2

評価方法	①期末試験：60%、②課題提出：20%、③出席率：20% ①～②の合計得点を評価（優、良、可、不可）に置き換える
関連科目	
備考	